

Top Message

▶ 上期は減収減益

IDECグループでは、新製品などを活用したソリューション展開の強化や、グローバルでの最適な生産実現に向けた改革に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間(上期)の業績は、国内外での流通在庫増加に伴う調整や、景気減速の影響により、インダストリアルコンポーネッツ事業や安全・防爆事業などが減少した結果、売上高は378億円(前年同期比12.5%減)、営業利益は40億円(前年同期比46.5%減)となり、営業利益率は10.7%となりました。

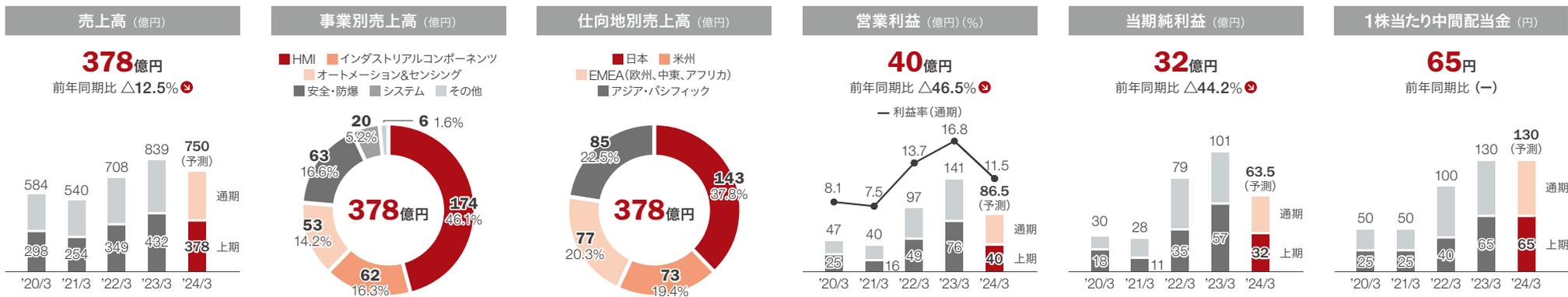
▶ 通期業績予想を下方修正

このような状況を踏まえて通期業績予想を修正し、売上高は810億円から750億円に、営業利益は138億円から86.5億円へと変更いたしました。なお配当につきましては、年間配当130円の期初計画を変更しておらず、予想配当性向は60%となります。

厳しい状況ではありますが、収益性向上を推進し、持続的な成長を実現するため、全社一丸となって取り組んでまいりますので、今後もより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長 船木俊之



# 中期経営計画の進捗 (2023年3月期～2025年3月期)

## Medium-term management plan

長年培ってきた制御技術をベースに、  
自動化・無人化・省力化需要や、  
安全・安心・ウェルビーイング意識の向上をはじめとする  
注力分野に対応した取り組みを推進することで、  
社会課題解決への貢献と、持続的な成長、  
カスタマーサクセスの実現を目指しています。

### 目標達成に向けた4つの基本戦略



成長戦略の  
推進



収益性の  
向上



経営基盤の  
強化



ESGの  
取り組み強化

中期経営計画では、成長戦略の推進、収益性の向上、  
経営基盤の強化、ESGの取り組み強化という4つの基本  
戦略に基づく取り組みを行っています。

戦略ごとに、マテリアリティとも紐づく取り組みテーマ  
を設定しており、スローガンである「PASSION FOR  
YOUR SUCCESS」の実現を目指しています。



## 成長戦略の推進

### ▶ フランスのez-Wheel社をグループ化

2022年1月にパートナーシップ契約を締結したez-Wheel  
社を、2023年8月にグループ化しました。

ez-Wheel社は、世界で初めて自律走行に必要な駆動制御  
と安全機能を備えた、AGV(無人搬送車)・AMR(自律走行搬  
送ロボット)向けの安全自律走行ホイールを開発したメー  
カーで、一人で運ぶことが困難だった重量物搬送の負担を軽  
減する、電動アシストホイールも提供しています。

グループ化により、ez-Wheel社製品と、IDECやグループ会  
社のAPEM社が得意とする、HMI、安全関連機器を組み合わ  
せた多様なモビリティ・ソリューションをグローバルに拡販す  
ることが可能になりました。

現在、大手建機メーカーや大手自動車メーカーなどでも採  
用いただいております。既に販売している欧州や日本に加え、北米  
でも順次展開し、ez-Wheel製品を活用したソリューションの  
売上高を、5年後約20億円に成長させていく予定です。



電動アシストホイール



安全自律走行ホイール

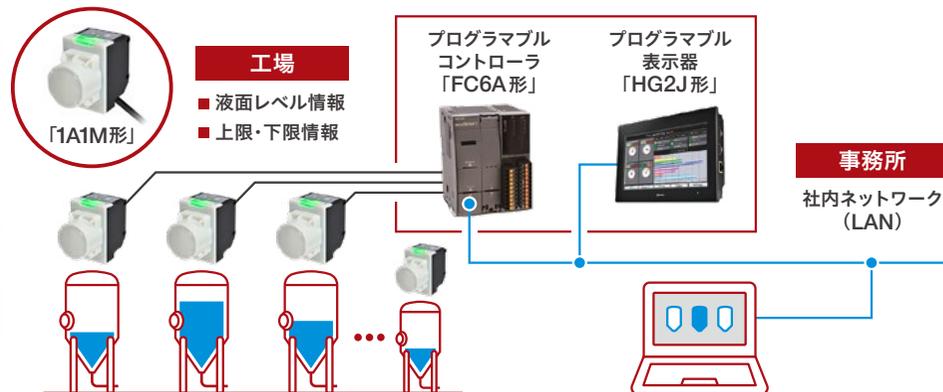
### ▶ コラボレーションによる新市場の拡大

2021年9月に、IDECとアルプスアルパイン株式会社の合併会社を設立しました。2023年5月に、第1弾製品となるマルチユースミリ波レーダセンサ「1A1M形」を発売し、現在多様な現場での採用が進んでいます。

例えば醸造メーカーでは、タンク内の液面レベルを検知するために使われています。非接触のため蒸気などの影響を受けず、のぞき窓越しの検出が可能で、IDECのプログラマブルコントローラやプログラマブル表示器と組み合わせることで、事務所にいながら工場にあるタンクの状態をモニタリングし、レポートを抽出することができます。



マルチユースミリ波レーダセンサ「1A1M形」の醸造メーカーでの採用事例



## 収益性の向上と経営基盤の強化

### ▶ グローバルでの体制見直しとDX推進

今後さらなる事業拡大と収益向上を実現していくために、構造改革をグローバルで推進しています。当期より購買・SCM機能を独立させ、最適な購買によるコスト低減を図るとともに、抜本的な生産体制・プロセスの見直しにも着手しています。ERP（統合基幹業務システム）やSCP（サプライチェーンプランニング）といったシステムをグローバル導入することで、IDECグループ全体での最適なサプライチェーン構築を図っています。

また持続的な成長のためには、グループ機能をリードできる人材をグローバルにキャリアプランニングしていくことが必要となっていることから、裁量労働制やフレックス制の導入といった柔軟な働き方を推進しており、組織や働く仕組みなども含めた、IDECグループ全体のグローバル化を加速しています。

今後も、全社での業務改革やDX推進を加速することで、業務の効率化、経営のスリム化を図っていきます。



## ESGの取り組み強化

### E 環境 Environment

#### 環境

##### いずみの森が「そだてる緑」で初認定

IDEC本社の緑地(いずみの森)が、公益財団法人都市緑化機構が実施する緑の認定制度「SEGES」(シージェス:社会・環境貢献緑地評価システム)の「そだてる緑」部門において、「Excellent Stage 2」の認定を取得しました。SEGESの認定取得はIDECにとって初めてであり、大阪市内では初めての「そだてる緑」部門での認定になります。



### S 社会 Social

#### 社会

##### 英国の小学校で教育活動を実施

子ども達の好奇心や創造性、イノベーションのひらめきを得ることを目的とした国家教育プログラムの一環として、社員が英国のEwendons小学校に招待されました。IDECグループの製品がどこで生産され、どんな用途で使われているかを説明し、製品を使ったゲームやクイズなどのワークショップを実施しました。



### G ガバナンス Governance

#### ガバナンス

##### 社外役員交流会を開催

「人的資本への取り組み状況と戦略への反映」をテーマに、社外役員交流会を開催しました。社員が現在の人的資本への取り組みや各種指標について発表するとともに、社外取締役と社員で3つのチームに分かれ、職場環境に関する意見交換を行いました。



### 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 / 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
お問い合わせ先	0120-782-031 (受付時間 9:00~17:00 土日祝日を除く)
公告の方法	電子公告により行います。 <a href="https://jp.idec.com/idec-jp/ja/JPY/about-IDEC/ir/stockholder-information">https://jp.idec.com/idec-jp/ja/JPY/about-IDEC/ir/stockholder-information</a> ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

### 主な社会からの評価 (インデックス組み入れ状況)

英国 FTSE Russell



SOMPO アセットマネジメント



英国 FTSE Russell



JPX グループ



### 詳しくはこちら

統合報告書



<https://jp.idec.com/integrated-report-2023>

サステナビリティサイト



<https://jp.idec.com/sustainability>

IDEC 株式会社

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6番64号  
TEL:06-6398-2500(代表)  
<http://jp.idec.com>